

第3回家畜衛生技術検討会を開催しました

令和4年12月13日

岐阜大学との連携事業の一環として、家畜衛生にかかる連携事業や共同研究などについて、情報共有や検討する場として、家畜衛生技術検討会を開催しています。

第3回は、岐阜県中央家畜保健衛生所主催で、中央家保から検体を提供した岐阜大学共同獣医学科食品環境衛生学研究室の6年生2名、同研究室で研修中の日本大学大学院博士課程2年生1名より自身の研究内容について、中央家保職員より牛の損耗防止について情報提供いただきました。なお、今回は検討会の様子をライブ中継し、中央家保以外の県関係機関にはリモートで参加いただきました。

■日 時

令和4年12月13日（火） 13：30～14：55

■場 所

岐阜県中央家畜保健衛生所 講義実習室1

■発表内容

- 1 牛伝染性リンパ腫発症を反映する血液エクソソーム内包 miRNA バイオマーカーの探索
- 2 牛伝染性リンパ腫ウイルス感染ステージによる生乳エクソソームに含まれる hsa-miR-424-5p の動態
- 3 バンドウイルカ腎臓由来新規細胞株の樹立と特性評価
- 4 令和4年度大学連携事業（牛の呼吸器病・下痢病関連調査）



(会場の様子)



(発表の様子)